

平成25年度 中間評価

中長期目標 (学校ビジョン)		技術を研ぎ、身体を鍛え、心を磨くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたまじくまいかと、感動したり他者を思いやるあなたがなを兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。		今年度の重点目標		1. 確かな学力の育成 2. 豊かな人間性の育成 3. キャリア教育の充実と生徒の進路実現		鳥取県立鳥取工業高等学校							
評価項目		評価の具体項目		現状		年度当初 目標(年度末の目指す姿)		目標達成のための方策		経過・達成状況		評価		改善方策	
1 確かな 学力の 育成	① 授業改善と 学力の定着	○授業評価アンケート 結果及び活用	・生徒の授業満足度は概ね良好 ・学習状況や理解度を把握 ・授業改善に活用	【授業改善】 ・生徒の理解度、学習意欲を高めるための改善を実施	【授業改善】 ① 考查、模試、資格試験等の分析・活用 ② 授業評価アンケートの活用 ③ 各種研修会への参加及び内容の伝達	・個人面談等の充実 ・公開・研究発表(年2回以上参加)の充実、教材研究の充実 ・スキルアップ、教職員の共通理解	【授業改善】 ① 個人面談を実施(学期当初に全クラス他)。 ② 授業評価アンケートの実施(7月)及び授業内容の改善。 ③ 各種研修へ参加、情報を共有中。 【基礎学力の育成】 ① 学力向上委員会実施(1学期2回)、授業規律の確立、部活動顧問との連携等を全職員で確認。 ② 昨年度より一部向上(LWeek Trial)指導等。生活状況の改善指導に課題。 ③ 数学基礎講習実施後、習得度の低い生徒へ補習。 ④ 放課後補習実施(理数工科学科全学年、3年工業学科希望者)。全学年夏季補習実施(理数工科学科全学年)、その他適宜実施。 ⑤ 課題、小テストの推進。 【学習環境の整備】 ① ロッカー内、上の整備に課題。 ② 授業前の着席・挨拶により一部改善、教科書等の準備に課題。 ③ 改善傾向。	C	【授業改善】 ① 面接後の生徒状況を学年・分科・教科・進路及び対策推進。 ② 改善内容を授業へ還元。 ③ 職員共有の推進。 【基礎学力の育成】 ① 学力向上委員会実施(1学期2回)、授業規律の確立、部活動顧問との連携等を全職員で確認。 ② 昨年度より一部向上(LWeek Trial)指導等。生活状況の改善指導に課題。 ③ 数学基礎講習実施後、習得度の低い生徒へ補習。 ④ 放課後補習実施(理数工科学科全学年、3年工業学科希望者)。全学年夏季補習実施(理数工科学科全学年)、その他適宜実施。 ⑤ 課題、小テストの推進。 【学習環境の整備】 ① ロッカー内、上の整備に課題。 ② 授業前の着席・挨拶により一部改善、教科書等の準備に課題。 ③ 改善傾向。	C	【授業改善】 ① 面接後の生徒状況を学年・分科・教科・進路及び対策推進。 ② 改善内容を授業へ還元。 ③ 職員共有の推進。 【基礎学力の育成】 ① 学力向上委員会実施(1学期2回)、授業規律の確立、部活動顧問との連携等を全職員で確認。 ② 昨年度より一部向上(LWeek Trial)指導等。生活状況の改善指導に課題。 ③ 数学基礎講習実施後、習得度の低い生徒へ補習。 ④ 放課後補習実施(理数工科学科全学年、3年工業学科希望者)。全学年夏季補習実施(理数工科学科全学年)、その他適宜実施。 ⑤ 課題、小テストの推進。 【学習環境の整備】 ① ロッカー内、上の整備に課題。 ② 授業前の着席・挨拶により一部改善、教科書等の準備に課題。 ③ 改善傾向。				
		○基礎学力診断テスト 結果及び課題	・基礎学力の定着に課題 ・意欲喚起に課題	【基礎学力の育成】 ・(工業科)専門教育に対応できる基礎学力の育成 ・生徒個々の基礎学力の把握と指導の徹底	【基礎学力の育成】 ① (新)学力向上委員会による組織形成 ② (工業科)基礎学力診断テスト等活用 ③ (工業科)教科基礎講習(1年生)の実施 ④ 放課後補習、個別指導の充実 ⑤ 課題、小テストの実施	・組織的な授業改善の促進	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・個人面談等で利用 ・学習の全体像を提示 ・生徒の理解度を把握し、自宅学習の推進	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。		【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
2 豊かな 人間性 の育成	② 主体的な学 習態度と実 践力の育成	○全国工業高校校長会 主催標準テスト結果	・一部の科目で目標未達成	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ・基本的な学習習慣の確立(「5S」「あさひ」の徹底)	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・個人面談等で利用 ・学習の全体像を提示 ・生徒の理解度を把握し、自宅学習の推進	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	C	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	C	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
		○「5S」「あさひ」の取組	・全体的には定着 ・授業開始・終了の挨拶や学習環境を改善 ・授業開始の教材準備の徹底に課題	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ・基本的な学習習慣の確立(「5S」「あさひ」の徹底)	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・個人面談等で利用 ・学習の全体像を提示 ・生徒の理解度を把握し、自宅学習の推進	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	【学習意欲の喚起と自宅学習の習慣化支援】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。						
3 豊かな 人間性 の育成	③ 職業意識 の育成と進 路指導の徹底	○人権・性教育LHR、 保育実習・シニア体験	・生徒は生命、人権尊重の大切さを思科	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ・生徒の自己肯定感・自己受容感の向上 ・共に認め合い、互いの個性を尊重しあえる人間関係の構築	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・人権意識の高揚、他者の人権・存在を尊重する態度の育成 ・WYSH教育(1年生)の実践 ・生徒理解、クラス目標の実現、集団規律の形成	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	C	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	C	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
		○ハイクー・Q.U	・学年別研修会及び職員会議にて全職員に周知 ・クラスや生徒の課題を分析及び対策(クラス・レベルづくり)	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ・生徒の自己肯定感・自己受容感の向上 ・共に認め合い、互いの個性を尊重しあえる人間関係の構築	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・人権意識の高揚、他者の人権・存在を尊重する態度の育成 ・WYSH教育(1年生)の実践 ・生徒理解、クラス目標の実現、集団規律の形成	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。						
4 豊かな 人間性 の育成	④ 職業意識 の育成と進 路指導の徹底	○いじめアンケートの活用	・問題の早期把握 ・全職員で取組む体制を強化 ・いじめ対策マニュアルの改善	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ・生徒の自己肯定感・自己受容感の向上 ・共に認め合い、互いの個性を尊重しあえる人間関係の構築	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・校外の人権教育研修への自発的参加の呼びかけ ・各学年・各分科の連携、密な情報交換	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	C	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	C	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
		○人権教育校外研修 「一人一研修」	・取組みが向上	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ・生徒の自己肯定感・自己受容感の向上 ・共に認め合い、互いの個性を尊重しあえる人間関係の構築	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・校外の人権教育研修への自発的参加の呼びかけ ・各学年・各分科の連携、密な情報交換	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	【生命・人権尊重の態度と社会性の涵養】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。						
5 豊かな 人間性 の育成	⑤ 職業意識 の育成と進 路指導の徹底	○基本的な生活習慣の確立	・「5S」「あさひ」は概ね定着 ・綿密な指導(時間・提出物)の徹底、欠席・遅刻・早退等に課題	【基本的な生活習慣の確立】 ・自ら挨拶のできる生徒の育成	【基本的な生活習慣の確立】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・日々の授業や学校行事を通して啓発	【基本的な生活習慣の確立】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	C	【基本的な生活習慣の確立】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	C	【基本的な生活習慣の確立】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
		○ボランティア活動	・生活化(H24:タカラボランティアに25名参加等)	【ボランティア活動の推進】 ・社会の一員としての自覚、思いやりの心を育成	【ボランティア活動の推進】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・日々の授業や学校行事を通して啓発	【ボランティア活動の推進】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	【ボランティア活動の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	【ボランティア活動の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。						
6 豊かな 人間性 の育成	⑥ 職業意識 の育成と進 路指導の徹底	○部活動、生徒会活動	・大会結果をHPで紹介 ・生徒会活動が生活化(生徒会長等への立候補者数増加等) ・他者への思いやりについて考える場を提供(生徒会主催募金活動等)	【部活動や生徒会活動の推進】 ・環境改善 ・環境改善の意識向上、取り組み強化	【部活動や生徒会活動の推進】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・生徒への早期受検案内の実施 ・鳥取県・個人別システム、企業見学、インターンシップ等の実施 ・事前指導内容の充実と徹底	【部活動や生徒会活動の推進】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	C	【部活動や生徒会活動の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	C	【部活動や生徒会活動の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
		○安全教育	・自転車安全教室を開催し、交通安全について啓発活動を実施	【安全教育の推進】 ・環境改善の意識向上、取り組み強化	【安全教育の推進】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・啓発活動の充実	【安全教育の推進】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	【安全教育の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	【安全教育の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。						
7 豊かな 人間性 の育成	⑦ 職業意識 の育成と進 路指導の徹底	○交通安全教室	・交通安全教室を開催し、交通安全について啓発活動を実施	【交通安全教室の推進】 ・環境改善の意識向上、取り組み強化	【交通安全教室の推進】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・啓発活動の充実	【交通安全教室の推進】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	C	【交通安全教室の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	C	【交通安全教室の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
		○自転車安全教室	・交通安全教室を開催し、交通安全について啓発活動を実施	【交通安全教室の推進】 ・環境改善の意識向上、取り組み強化	【交通安全教室の推進】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・啓発活動の充実	【交通安全教室の推進】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	【交通安全教室の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	【交通安全教室の推進】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。						
8 豊かな 人間性 の育成	⑧ 職業意識 の育成と進 路指導の徹底	○「工業技術基礎」 (共通実習)	・各専門科の特色を活かし、基礎的・基本的な内容を指導 ・レポート内容、提出・時間厳守、集合場所の確認等の指導の徹底に課題	【工業技術基礎(共通実習)】の充実 ・カリキュラムの充実 ・指導方法の充実・研究	【工業技術基礎(共通実習)】の充実 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・言語活動の一環	【工業技術基礎(共通実習)】の充実 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	C	【工業技術基礎(共通実習)】の充実 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	C	【工業技術基礎(共通実習)】の充実 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
		○資格取得指導	・「国家資格・検定取得ガイドブック」に則り、適切な時期に案内 ・早期・放課後補習や社会人講師による実技指導等を実施 ・昨年度、取得率は科によって異なり ・昨年度、3年生の一人一資格を実現できず ・上級資格取得の生徒は増加	【資格取得指導の徹底】 ・環境改善 ・環境改善の意識向上、取り組み強化	【資格取得指導の徹底】 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・言語活動の一環	【資格取得指導の徹底】 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	【資格取得指導の徹底】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	【資格取得指導の徹底】 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。						
9 豊かな 人間性 の育成	⑨ 職業意識 の育成と進 路指導の徹底	○「5S」	・必要性を理解させることはできたが、実践力の育成に課題 ・校内環境の不備な点について迅速に対応、改善	【5S】の徹底 ・環境改善の意識向上、取り組み強化	【5S】の徹底 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・鳥取県・個人別システム、企業見学、インターンシップ等の実施 ・事前指導内容の充実と徹底	【5S】の徹底 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	C	【5S】の徹底 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	C	【5S】の徹底 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。				
		○インターンシップ	・鳥取県の企業61社と連携 ・H24の工業学科2年生151名が参加 ・協力企業数不足により、数社の企業が多数の生徒を受け入れ	【インターンシップ】の充実 ・カリキュラムの充実 ・指導方法の充実・研究	【インターンシップ】の充実 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2回)の実施と分析	・鳥取県・個人別システム、企業見学、インターンシップ等の実施 ・事前指導内容の充実と徹底	【インターンシップ】の充実 ① 個人面談を実施(全職員、年度当初、夏休み明け)。適宜、担任・教科担任で面談・方針等を提示、生徒の学習目標の早期設定に課題。 ② 校内ネットワークにアップ。年度当初に全体像を提示。 ③ 多くの教科が課題や小テストを実施。 ④ 自宅学習調査(前期)を実施。概ね昨年度より学習時間が増加。	【インターンシップ】の充実 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。	【インターンシップ】の充実 ① 面談の一環での推進。各種試験等の受験奨励。 ② 提出物や授業態度等、評価について生徒に一層周知。 ③ 効果の検証及び課題内容・量や評価方法の検討。 ④ 自宅学習調査(後期)を実施。自宅学習計画の指導。						
10 豊かな 人間性 の育成	⑩ 職業意識 の育成と進 路指導の徹底	○鳥取県デュアルシステム	・H24参加生徒が機械科3名、制御・情報科6名、電気科6名、協力企業数が5社 ・一昨年度比増・減	【鳥取県デュアルシステム】の推進 ・環境改善 ・環境改善の意識向上、取り組み強化	【鳥取県デュアルシステム】の推進 ① 各種試験・適性検査・外部進路行事等の活用 ② シンパスの活用 ③ 課題、小テストの実施 ④ 自宅学習調査(年2										